

# 地理歴史科（日本史B）学習指導案

鹿児島県立松陽高等学校  
地理歴史科 教諭 上田勇一

指導日時；平成21年11月6日（金）第5校時  
指導対象；第2学年文系  
（1～3組, 男子11人・女子29人 計40人）

## 1 単元

### (1) 単元名

第4章 中世社会の成立

#### 1 院政と平氏の台頭

「保元・平治の乱」

「平氏政権」

### (2) 単元の目標

- ①「興味・関心」…貴族社会の終焉と院政の展開、および武家政権誕生の原因・実態・結果を学び、その影響を考察することを通じて、これ以前・これ以後の歴史とのつながり、および日本文化成立の背景に対する生徒の興味・関心を喚起する。
- ②「思考・判断」…貴族社会から武家政権への推移の概要を学び、その原因や影響を前後の歴史の流れの中での位置づけを考察することを通じて、この時期のこの動きがのちの世に与えた影響を生徒とともに考える。
- ③「資料活用の技能・表現」  
…これまでの既習事項を整理し、貴族社会の終焉と武家政権誕生の原因・流れを考察する。  
…院政期と平氏政権の概要と実態を把握し、その要因を考察する。  
…上記の考察を通じて、自分なりの考えをまとめ、表現する。
- ④「知識・理解」…院政・武家政権の過渡期の概要を把握する。  
…武士の成長の原因と意義を理解する。

## 2 本時の主題

「武家政権の誕生と実態」

## 3 主題設定の理由（「研究テーマ」、および生徒の実態をふまえて）

- (1) 本校生徒は、全体的に見て、潜在的な学習能力（学力）は決して低くない。しかし、その潜在能力を活かすために必要な、勉学に対する主体的な意欲・姿勢は決して充分とは言えない。
- (2) このような本校生徒の現状に鑑み、日々の授業や学習に「充実感」・「達成感」を持たせ、それを「向上心」につなげることによって、主体的・積極的な学習態度を育成することができれば、「よりよく生きる生徒」に確実に近づくことができると考える。
- (3) そこで、本単元・本時においては、貴族政治から武家政治への過渡期である平安時代末期の動き、および、その原因・実態・結果・影響を生徒とともに学び、考えることによって、わが国の形成の歴史的過程についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的・平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養うことが究極的な目標である。

## 4 指導計画

第4章 中世社会の成立

### 1 院政と平氏の台頭（全4時間中の3時間目）

- ①「延久の荘園整理令と荘園公領制」・・・・・・・・・・1時間
- ②「院政の開始」・「院政期の社会」・・・・・・・・・・1時間
- ③「保元・平治の乱」・「平氏政権」・・・・・・・・・・1時間（本時）
- ④「院政期の文化」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

## 5 使用教材

- (1) 教科書 山川出版社 「詳説日本史改訂版」  
 (2) 図説 浜島書店 「新詳日本史」  
 (3) ノート 啓隆社 「新日本史 要点ノート 標準編」

## 6 本時の実際

### (1) 本時の目標

先に述べた「本単元の目標」の内容を勘案し、本単元内における本時の位置づけを考慮して、本時は特に以下の二点について配慮して指導する。

ア 「思考・判断」…武家政権の黎明期の概要を学び、その誕生の原因や影響を前後の歴史の流れの中での位置づけを考察することを通じて、この時期のこの動きがのちの世に与えた影響を生徒とともに考える。

イ 「知識・理解」…保元・平治の乱と平氏政権の概要を把握する。  
 …武士の成長の原因と意義を理解する。

### (2) 本時の展開

過程時間	学習活動・評価の観点 (○数字は「本単元の目標」との、カタカナは「本時の目標」との関連)	指導上の留意点	備考
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時までの復習</li> <li>○摂関政治～院政の流れを再確認する。 ④・イ</li> <li>●本時の概略</li> <li>○話を聞き、授業を受ける態勢を整える。 ①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「延久の荘園整理令」・「摂関政治(外戚政治)の限界」に特に注目させる。</li> <li>○教材の準備をさせつつ、本時の概略について説明する。</li> </ul>	教科書・ 要点ノート ↓
展開 (40分)	<p>◎保元の乱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●院政の主導権争い</li> <li>○院政に関して、既習事項を確認しつつ考察し、その概要を理解する。 ①・②・③・④・ア・イ</li> <li>●乱の内容と結果</li> <li>○摂関家・源氏・平氏の対立図式を把握する。 ④・イ</li> <li>●乱の意義</li> <li>○武士の存在意義の拡大について考察し、その意味を確実に理解する。 ②・③・④・ア・イ</li> </ul> <p>◎平治の乱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●乱の原因と内容</li> <li>○対立の図式を把握し、政治の主導権争いが、院の主導権争いではなくなっていることを理解する。 ④・②・①・イ・ア</li> <li>●乱の結果</li> <li>○平氏政権＝武家政権の誕生を理解し、その意義を考察する。 ①・②・③・④・ア・イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○院政を敷いた上皇たちを再確認させつつ、保元の乱の原因を把握させる。</li> <li>○主要人物を重点的に確認させる。</li> <li>○その後の時代が武士の存在なしには語れなくなっていくことを確実に定着させる。</li> <li>○平氏と源氏の政権争いについて概要を理解させる。</li> <li>○武士の時代の本格的到来の意味を考えさせる</li> </ul>	↓

過程 時間	学 習 活 動 ・ 評 価 の 観 点 (○数字は「本単元の目標」との、カタカナは「本時の目標」との関連)	指 導 上 の 留 意 点	備 考
	<p>◎平氏政権</p> <p>●平氏政権の性格 ○平氏政権の性格を理解し、その特徴から導かれる影響を考察する。 ①・②・③・④・ア・イ</p> <p>●平氏政権の経済基盤 ○日宋貿易の概略を理解し、平氏が貿易に力を入れる要因を推測する。 ①・②・④・ア・イ</p> <p>●反平氏の動き ○鹿ヶ谷の陰謀とその失敗、清盛の専横について理解する。 ④・イ</p>	<p>○貴族政治＝摂関政治との類似・相違を理解させ、その影響を考察させる。</p> <p>○伊勢平氏の性格にも触れる。</p> <p>○治承・寿永の乱の予習的に展開する。</p>	↓
終末 (5分)	<p>●本時のまとめ ○「本時の展開」の概略を再度咀嚼し、武家政権誕生の経緯と実態・その意義について考え、結論を導く。 ①・②・③・④・ア・イ</p> <p>●次時の予告 ○話を聞く。 ①</p>	<p>○必要に応じて、解説を加え、生徒の考察を援助する。</p> <p>○次時の学習内容を簡潔に予告する。</p>	↓

(3) 本時の評価

- ① 貴族政治～院政を経て武士の時代が到来するまでの流れを主体的に考察し、理解することができたか。
- ② 武士の成長と武家政権の誕生の意義について自分なりの答えを導くことができたか。
- ③ 平氏政権の概要とそれが誕生するに至った経緯について考察し、その概略を理解することができたか。